

# 第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

草津市立高穂中学校

教諭 辻本 貴大

1、単元名 『たかほ学 ～ふるさと学習～』

2、単元の目標

○大阪・関西万博への校外学習などを通して「SDGs」についての基礎的・基本的な知識を身に着けるとともに、地元である「草津市」ではどのような状況にあるのか、正確な情報を収集し整理・発信できる。

(知識及び技能)

○「SDGs」についての世界や草津市の現状や対策について知ったうえで、持続可能で実現可能な対策について多面的・多角的に考え、実行できる。(思考力・判断力・表現力等)

○「SDGs」についての知識を深める中で、社会や地域の中での課題を解決するために“自分には何ができるか”という視点で考え、自覚と責任を持った行動をしようとする態度を育む。(主体的に学習に取り組む態度)

3、単元について

(1) 教材観

本単元では、第1学年の総合的な学習の時間の探求学習として行っている『たかほ学～ふるさと学習～』の一環として今年開催される「大阪・関西万博」への校外学習の内容も関連させながら「SDGs」について学習する。

「大阪・関西万博」への校外学習では、世界や日本にはどのような地域があるのか、また国連が掲げた「SDGs」の達成に向けてどのような取り組みをしているのかということ各パビリオンへの見学などを通して、体験的に学習をすることができる。また、国内外から多くの人が集まるイベントに参加することで自分自身と社会との連帯感を感じることができることに大きな意義があると考えます。

校外学習で得た経験や知識をもとに、「SDGs」や地元での取り組みについて探求学習を進めていくことで、より身近で喫緊の課題としてとらえることができると考える。

また、世界全体が達成しようとする目標について学ぶことで、地域社会で取り組まれていることや地域社会の中での自身の役割を自覚し、より具体的な行動につなげていきたい。

(2) 生徒観

本校の1年生は各小学校において地域教材を用いた「総合的な学習の時間」の内容を学習してきており、それぞれの学区の身近なことについては深い知識を持っている生徒が多い。また、何事にも意欲的に取り組む姿勢が見られ、他者と協働しながら課題に取り組もうとする姿も多くみられる。

4月に「総合的な学習の時間」の『たかほ学』の導入として、【2100年の社会はどうなっている?】と問いかけたところ「空飛ぶ車が飛び交っている」や「ゲームの世界に入れる」などの子どもらしい無邪気な答えも多かった一方で「AI化が進み、全国各地にいろいろな設備が行き渡る」や「日本の人口がさらに減ってしまっって子どもがもっと少なくなる」、「税金が今よりももっと高くなる」など、今の社会の現状をシビアに捉えている生徒も多くいることが分かった。

また、本校は3小学校から進学してくるため、1年生ではまだまだ人間関係が出来上がっていない状況が多くみられる。そのような状況の中で「SDGs」という共通の目標について考え、自ら行動しようという姿勢を育む本単元での学習は、日々の教育活動にも大きな影響をもたらすと期待している。

### (3) 指導観

「SDGs」について、それぞれの目標についての概要は理解していても、実際に世界ではどのような現状があるのか、日本や草津市ではどのような対策が取られているのかなど、詳細については生徒も教員自身もまだまだ知らないことが多いと考える。だからこそ、「教員も生徒と共に学ぶ姿勢」を大切にしながら指導にあたっていきたい。

また、生徒が調べ学習を行う際にはあらかじめ参照できるようなウェブサイトや参考になるような書物を見定めておく必要がある。そうすることで「SDGs」という広義で一般的な内容を学ぶことから、より具体的な自分自身の目標を設定することにつなげたい。

次に、草津市内の「SDGs」についての取り組みを調べていく中で、市役所関係各課や草津市内の関係施設など、より専門的な知識を持っておられる方をゲストティーチャーとして招き、草津市の現状やこれからの展望について具体的なビジョンを持たせる一助とする。

これらの活動を通して、地域社会の中での自身の位置づけを意識させ、「未来の社会、草津市をよくするために自分たちにできることは何か」ということを、仲間とともに共通の課題として考える活動を通して将来に渡って安心して暮らせる地元・草津をつくっていかうという「市民性」を育みたい。

### (4) ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性…現在の世界や日本の社会で起きていることは、草津市で暮らす私たちにとっても無関係ではなく、現状を打開するための手立てを講じなければ、将来に渡って安心・安全に暮らすことができない可能性があるということ。

有限性…今私たちが使っている資源の活用量や、現在の社会の状況が10年後、30年後も恒久的に続くということではなく、特に資源・エネルギーなどはこのままでは枯渇してしまう危険性があるということ。

責任性…私たち自身が地域社会を形作っている一員であり、その地域で永続的に安心・安全な暮らしをしていくためには、今の社会に生きる私たち自身が自分たちの地域社会をよりよくするための具体的な行動をしなければいけないということ。

#### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

##### クリティカル・シンキング

世の中や自分自身の中にある『当たり前』を問い直し、地域社会の現状を“正しく”捉えて、“正しい方法”での新たな解決策を見出していく力。

##### 長期的思考力

「SDGs」に関わる世界の現状や、諸課題に対して滋賀県、あるいは草津市がどのような取り組みを行っていてどれだけ効果が出ているのかということについて、実際のデータに基づいて分析する。また、分析した結果をもとにこれから先の社会がどうなっていくのか、どうなっていくべきなのかを考える力。

##### コミュニケーション力

「SDGs」に関する様々な調査を行う際に、グループ内で他者と協働して課題に取り組む中で、役割分担をしたり、多岐にわたる意見を尊重しながら一つの結論にまとめていく方向性を見出したりする力。

### 協働的問題解決能力

世界や日本全体、地域社会が直面する簡単に答えがでないような難題に対して、グループのメンバーと試行錯誤しながら粘り強く最後まで取り組むことで、これからの自分の行動を選択し行動化していく力。

### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

#### 世代間の公正

将来世代の生存可能性や幸福性を失わないようにするためには、現代社会を生きる私たちの日々の行動が大きなカギを握っていることを自覚する

#### 世代内の公正

現役世代の中でも、自分たちだけでなく高齢者や幼い子どもなど、不特定多数の人々が安心・安全な社会を創っていかなければいけないという意識の醸成。

#### 幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

自分たちの世代だけが幸せであることが、人類の恒久的な幸せにはつながらないこと。  
また、世界の現状などを知ることで、今自分自身が置かれている状況がいかにかに幸せであるか、恵まれた環境のもとで日々生活できていることに感謝し、この環境を未来につなげていくことが大切である。

### ・達成が期待される SDGs

- 2 飢餓をゼロに / 4 質の高い教育をみんなに / 6 安全な水とトイレを世界中に  
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに / 8 働きがいも経済成長も  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう / 11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任つかう責任 / 13 気候変動に具体的な対策を  
14 海の豊かさを守ろう / 15 陸の豊かさを守ろう

### 4、単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①「SDGs」についての基礎的・基本的な知識を身につけている。 ②「SDGs」について、世界や日本全体、そして地元である「草津市」ではどのような状況にあるのか、正確な情報を収集し整理している。	①「SDGs」についての世界や草津市の現状や対策について知ったうえで、持続可能で実現可能な対策について多面的・多角的に考え、実行している。 ②「SDGs」について、データに基づいて正確に事実を捉え、そのことを外部に発信している。	①「SDGs」についての知識を深める中で、社会や地域の中での課題を解決するために“自分には何ができるか”という視点で考え、自覚と責任を持った行動をしようとしている。 ②単元の振り返りを通して、学習前よりも問題意識と探求心を持ってこれからの生活に学習を生かそうとしている。

5、単元の指導計画（全30時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 たかほ学オリエンテーション 3年間の総合的な学習～たかほ学～の学びについて知る。</p> <p>①「2100年の社会はどうなっている？」 ②「“カッコ良い大人”ってどんな人？」 ③「3年後、こんな自分になりたい！」</p>	<p>○生徒が自由に考えられるように、クラスの実情に合わせて班や個人での共有を工夫する。</p>	<p>ウ① (主体的)</p>
<p>2 大阪・関西万博オリエンテーション 校外学習に向けての見通しを持つとともにたかほ学のテーマとなる「持続可能な社会の担い手」としての意識と自覚を持つ足掛かりとする。</p> <p>①「これからどんな社会になってほしい？」 ②「大阪・関西万博でどんなものを見たい？」</p>	<p>○校外学習に向けて前向きな印象を抱かせるように紹介する。</p> <p>○将来に希望を持てるようなポジティブな意見がたくさんでくるように声掛けをする。</p>	<p>ア② (知・技)</p>
<p>3～8 大阪・関西万博 校外学習 校外学習において、クラスごとにパビリオンを見学し、世界の現状を知る。 また、5年に一度開催される万博を見学することで自分自身の知見を広げる。</p>	<p>○クラスごとのパビリオンの見学がスムーズに進むように支援する。</p>	<p>ア② (知・技)</p>
<p>9 大阪・関西万博 事後学習 校外学習を振り返って、たかほ学のテーマとなる「持続可能な社会の担い手」としての意識を高めるために、『SDGs』との関連性を探る。</p> <p>①「今回見学したパビリオン、万博会場で見た物が『SDGs』とどう関係している？」 ・『SDGs』の17の目標との関連性が高いものベスト3を選ぶ。</p>	<p>○SDGsに関する知識が不十分なところは補足説明を行う。 また、校外学習の写真なども見せてイメージを膨らませながら指導する。</p>	<p>ア① (知・技)</p>
<p>10 立命館大学「SDGs」パネルディスカッション、キャンパス体験 事前学習 山中教授のビデオを視聴し、体験希望のアンケートを行う。</p>	<p>○山中教授のビデオを放映し、質問等があれば補足説明をする。</p>	<p>ア① (知・技)</p>
<p>11～14 立命館大学「SDGs」パネルディスカッション、キャンパス体験 立命館大学において、「SDGs」についてのパネルディスカッション・キャンパス体験を行う。</p>	<p>○パネルディスカッションが円滑に進むように支援をする。</p> <p>○キャンパス体験においても、活動がうまく進むように手助けをする。</p>	<p>イ① (思判表)</p>
<p>15・16 クラス別『SDGs』調べ 1学期の校外学習の振り返りより、自分たちが見学したパビリオンと関係が深い『SDGs』の目標のうちの1つについて調べる。 ※クラスごとの分担は別紙参照</p>	<p>調べる内容の例： ○それぞれの目標に関する具体的な内容 ○それぞれの目標に関わる世界の現状 ○それぞれの目標に関して、実際に行われている対策・実践例 など</p>	<p>ア② (知・技) イ② (思判表)</p>

<p>17・18 『草津市 SDGs』調べ 前次で調べた目標の内容に関して、草津市の実態や、目標達成のためにどのような取り組みがなされているのかを調べる。</p>	<p>○事前に参照できそうなウェブサイト調べておくなど、調査が円滑に進むように支援する。 ○まとめ方はPCでまとめるか、画用紙などにまとめるかはクラスの実態に合わせて選択する。</p>	<p>ア② (知・技) イ② (思判表) ウ① (主体的)</p>
<p>19～21 『草津市 SDGs』セミナー これまでに調べた目標の内容に加えて、市内各専門機関等より専門家を招き、専門知識や草津市の実態について学ぶ。</p>	<p>○事前にゲストティーチャーへの質問項目をまとめておくなどする。</p>	<p>ア② (知・技) イ① (思判表)</p>
<p>22～26 『草津市 SDGs』フィールドワーク これまでの学習内容を踏まえて、関係の深い市内の各施設などを訪問し実地調査を行う。</p>	<p>○関係各課との事前の連携を密にして、当日の実地調査が円滑に進むように支援する。</p>	<p>ア② (知・技) イ① (思判表)</p>
<p>27～30 『たかほ万博』開催 これまでの学習内容をまとめ、1年間の集大成としての発表の機会として『たかほ万博』を開催する。</p>	<p>○クラス内でのまとめ、発表がスムーズにできるように必要な支援を行う。 ○当日の発表会は体育館でクラスごとにブースを作成し、</p>	<p>イ② (思判表) ウ①・② (主体的)</p>

※ 今年度は「大阪・関西万博」が開催されたため、このようなテーマで学習を展開した。来年度以降は同じ内容で取り組むことは不可能であるが、

- ① 学年でのテーマを決める。
- ② テーマについて生徒たち自身が調査をする。
- ③ テーマについて専門家からのレクチャーを受ける。
- ④ 実地調査・フィールドワークを行う。
- ⑤ 調べたこと・学んだこと・感じたことをまとめ、成果と課題を学年全体で共有するための発表会を行う。



という流れで、ふるさとである“草津市”について詳しく知る。という「たかほ学～ふるさと学習～」の主題を大切にしながら活動を行っていききたい。

### 総合的な学習の時間 | 1年生の目標

- 社会に出たら重要となる力に気付く
- ・身のまわりの問題に気付く力
- ・解決のアイデアを考える力
- ・他者と協働する力
- ・主体的に実行していく力
- 他者視点を持って思いやりや協働の心を学ぶ

令和7年度 1年生「たかほ学(ふるさと学習)」～草津市のSDGs～

☆ 各クラス調査テーマ

クラス	ゲストティーチャー	「SDGs」テーマ	
1組	商工観光労政課 「今後の草津市の産業の発展について」		8、働きがいも経済成長も 経済成長、働きがい・経済生産性の向上、雇用創出などの経済がテーマ。
2組	第二給食センター 「給食の残食を減らすために工夫していること」		2、飢餓をゼロに 食べ物を十分に摂取できず栄養不足状態にあることをゼロにする。
3組	淡海環境保全財団 「琵琶湖の自然保護・環境保全活動について」		14、海の豊かさを守ろう 海洋ゴミの増加や海の生態系の危機、海洋の酸性化など海の様々な問題解決
4組	温暖化対策室 「草津市の温暖化対策について」		13、気候変動に具体的な対策を 気候変動や自然災害への対応・対策にすべての国々が一丸となって取り組むこと
5組	まめバス（交通政策課） 「草津市内における循環バス運行の意義」		9、産業と技術革新の基盤をつくろう 道路や鉄道の整備、上下水道・発電所の整備、インターネットの普及など
6組	まちづくり協議会（3小学校区） 「各学区のこれからについて」		11、住み続けられるまちづくりを すべての人が安心して住み続けられる持続可能なまち作りがテーマ
7組	甲西中学校 夜間中学校 「夜間中学校の取り組みの概要」		4、質の高い教育をみんなに すべての子どもに初等・中等教育を無償提供したり、教育施設を提供したりする
8組	がんさん（株） 「缶のリサイクル事業について」		12、つくる責任つかう責任 私たちの生活に必要な電気や水、食糧などの資源を確保する。
9組	環境文化フォーラム 「草津市内の生態系、環境保全について」		15、陸の豊かさを守ろう 生態系や森林の保護、砂漠化への対処などがテーマ
10組	大阪ガスネットワーク（株） 「エネルギー環境教育プログラム」		7、エネルギーをみんなにそしてクリーンに 温室効果ガスの排出を抑えた環境負荷の少ない再生可能エネルギーがテーマ
11組	日東電工（株） 「水資源の大切さについて」		6、安全な水とトイレを世界中に 人が生きるのに欠かせない水について考えて課題を解決する。